

国際園芸アカデミー有識者会議のまとめ（総論）（たたき台）

（はじめに）

- 「国際園芸アカデミー有識者会議」において、アカデミーのあるべき姿を議論し、下記の事項を実施すべきとの結論に至った。
- 各事項の実施スケジュールについては下記「想定スケジュール」及び各WG作成ロードマップのとおりであるが、特にハード整備が必要なものについては、社会経済情勢により前後することがあり得るものとする。
- なお、議論の過程において「教育内容の充実」についてはアカデミーが検討し、その他の議題については「花と緑の振興センターWG」「教育環境の充実WG」の2つのWGを設置し、次の役割分担で検討を行った。
 - ・「花と緑の振興センターWG」…業界の壁を越えた連携による花き産業の振興と担い手の育成のあり方
 - ・「教育環境の充実WG」……………フィールドの充実(施設、機械、設備等の整備)による教育環境のあり方
 - ・「国際園芸アカデミー」……………花と緑の産業に直結した教育改革のあり方

1 国際園芸アカデミーの教育改革(主にカリキュラム面)

【国際園芸アカデミー】

- 教育改革の推進にあたっては、「卒業認定に関する方針(ディプロマ・ポリシー)」等の3つのポリシーを定め、これに沿って実施する。
- そのうえで、花と緑の産業に直結した教育を実践するため、次の5つの改革に取り組む
 - ・教員の意識改革や企業との連携強化による教育体制の充実
 - ・経営手法の習得や商品企画力の醸成による経営感覚に優れた人材の育成
 - ・社会性と職業意識を身につけた即戦力となる人材育成
 - ・園芸・緑化技術の習得及び向上による担い手の育成
 - ・企業向け、一般人向け講座の開設による社会人教育・生涯学習の充実

【想定スケジュール】
・可能なものから速やかに実施

2 国際園芸アカデミーの教育環境の充実(主にフィールド面)

【教育環境の充実WG】

- 校内フィールドの充実
 - ・最新設備の導入による学習環境の向上
- 花フェスタ記念公園の活用
 - ・実習棟の再整備による学習環境の向上や作品の直売施設の新設によるコミュニケーション能力とマーケティング能力の向上
- 校外フィールドの確保
 - ・インターンシップの充実による実践的技術の習得や地域社会と連携した花と緑のまちづくり

【想定スケジュール】
・機械・設備：R3 計画策定 R4 導入(目標)
・施設整備：R3~4 計画・設計 R5 整備(目標)

3 (仮称)ぎふ花と緑の振興コンソーシアムの設置

【花と緑の振興センターWG】

- 業界の壁を越え産学官金が連携した花と緑の産業振興
 - ・行政と企業が連携した産業振興事業の実施(癒しの空間づくり、SNS情報発信、学生ビジネス提案コンペ)
 - ・企業等のワーキンググループによる事業の実施(マーケットインの商品開発、オンリーワン品種の育成)

【想定スケジュール】
・コンソーシアム設置：R3(*花き戦略会議を改組)
・事業開始：R3 可能なものから実施

4 (仮称)清流の国ぎふ花と緑の振興センターの設置(担い手育成支援施設の設置)

【花と緑の振興センターWG】

- 企業や大学等教育機関と連携した担い手の育成と産業の振興
 - ・「担い手育成支援施設」の設置・運営(研修受入・研修計画策定・広報・情報発信)
 - ・コンソーシアム事業の運営支援(事務局)

【想定スケジュール】
・センター設置：R3 設置準備 R4 設置(目標)
・研修施設：R3 計画策定 R4 整備(目標)

（今後の検討課題）

- 今後、上記の内容を一定期間実施し、その効果を検証した上で更に次の事項を検討することが望ましい。
 - ・国際園芸アカデミーの花フェスタ記念公園への全面移転
 - ・花フェスタ記念公園を中核とした社会人教育・生涯学習機能の展開